



クラフトばいばいpark

意図

作家業を本業としないような作家が、自分の作品を実際に見て購入してもらうためには、アート市やフリーマーケットへの出展が主流の方法です。しかし、出展料や店番をして接客することなども考えると、時間もお金もかかってしまうという一面があります。SNSや販売サイトで売買を行うにしても、自分で宣伝・販売・発送を行わなければなりません。いずれにせよ収益を上げるためには、高い自己マネジメント力やさまざまな過程が必要とされます。

売買の負担が原因で、作品を売ることが諦めてしまう作家も多いのではないのでしょうか。

作り手が気軽に売買の一連の流れを全て任せられるマーケットがあれば、更にアート市場は盛り上がるはずです。

また、多くの受け手が、「美術館に出かけないとアートには触れられない。アートを購入するのは一部の富裕層だけ」という認識があり、美術への敷居の高さを感じているように思います。

美術はより生活の近くにあり、日用雑貨を買うように気軽に手に取りやすい存在であってもいいはず。そのために、まずはマーケットの方から積極的に街や人に近づいて行くことも必要だと考えます。

この「クラフトばいばいpark」は常に移動し続け、お客さんに来てもらうものではなく、迎えに行くアート市場です。入場料も入口出口もなく、入りやすい設計になっています。

内容



土曜の朝から日曜の夜まで開かれる移動遊園地のようなアートマーケットです。街の見慣れた川辺や公園に、12色のビーチパラソルなどが開かれます。中には一万円までの絵画、彫刻、アクセサリー、布地、雑貨などさまざまなものが売っています。

内容

①作家が作品を作ります



縦・横・高さの合計が150cm以下、かつ重さが15キロのものまでを取り扱います。絵画作品だけでなく、手作りのものならなんでも扱います。

②作品を写真に撮ってホームページにアップロードします



この際、作品が主に何色が、カテゴリーはなにか、モチーフはなにかを選択します。希望価格を最大9090円まで選択できます。手数料はこの希望価格に10%上乗せします。(パークでは、希望価格9090円+手数料909円=9999円で売られる) 過激な表現のものを運営がここで省きます。

③その地域を運転するトラックが回収に向かいます



包装は作家本人が行います。集荷に料金はかかりませんので、あらかじめ玄関先に置いておいて構いません。もしくは事務所兼倉庫に郵送も可能です。

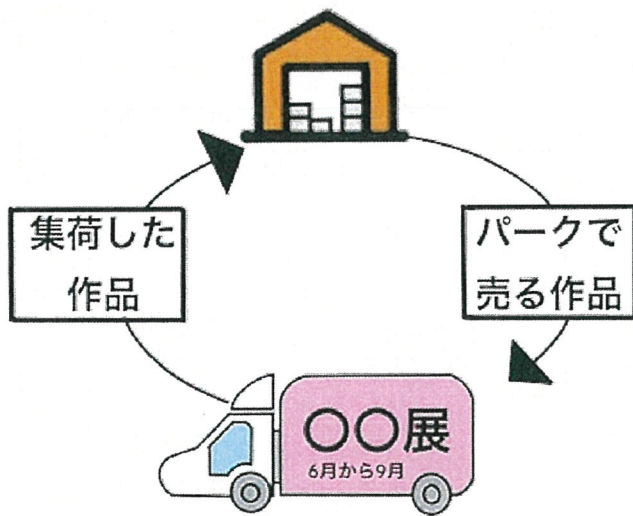
④トラックが倉庫兼運営事務所に向かいます



集荷した作品たちを倉庫に下ろします。倉庫は作品の色、カテゴリー、モチーフで細かく分けられています。(7頁)倉庫管理のスタッフが適切な場所にしまいます。

内容

⑤出品する作品たちを積みます

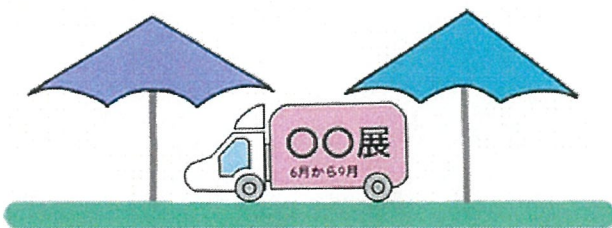


⑥パーク開催予定地まで向かいます



土曜の朝6時までにトラックが到着します。6時からスタッフがテントを広げ、荷物を下ろし、市場開催の準備を始めます。8時ごろからクラフトばいばいparkが始まります。

⑦休日、祝日の日にパークが開催されます



接客はホームページ上で募ったスタッフの方たちが行います。購入後、希望価格が作家の口座に振り込まれます。

内容① トラックについて

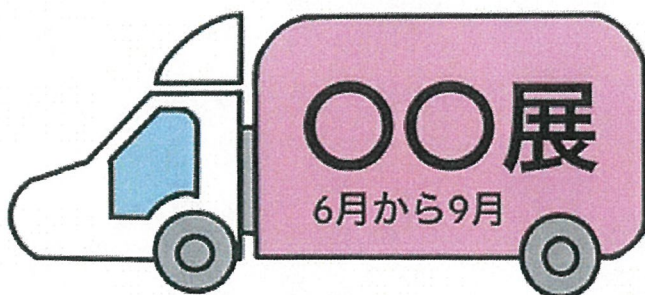
各地域に一台ずつトラックが走っています。トラックの中には作品たち、テントなどアート市を開催する際に必要なものが全て入っています。

その地域内の展覧会の宣伝カーとすることでトラック維持費用を抑えられ、広告収入が入ります。

トラックは運輸業などで導入し始められている水素トラックです。乗り降りしやすく住宅街の狭い道でも通れます。



美術展の宣伝カーは前例アリ



内容② 倉庫兼運営事務所について

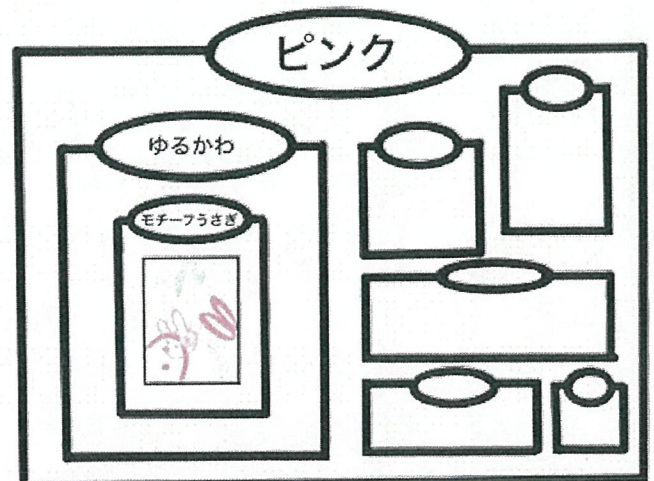
倉庫兼運営事務所は日本に三箇所あり、
仕事は2つあります。

まず、集まった作品を保管しておく倉庫
としての役割。次に、社員によってアッ
プロードされた作品が取り扱い可能かの
判断です。また、社員はパークに出品す
る作品を選び、リストアップする仕事も
あります。

倉庫は「洗練」「ゆるかわ」「味があ
る」など、作品の印象でゾーンが分かれ
そこから更にモチーフで
細かく分かります。



絵画は絵画で、という
ようにしまい場所を
ひとかたまりにしない



内容③ ホームページについて

会員登録

ここで作家は無料の会員登録をします。

作品アップロード

作家が写真を送信。運営が一つ一つ見ます。

作品介绍

出品中の注目作品を写真と共に紹介します。

トラック位置

いまどこを走っているかマップで見れます。

トラック予定

作品回収の詳しい日時を確認できます。

Q&A

包装方法や受け渡しについてなど、よくある質問をまとめています。

パークの様子

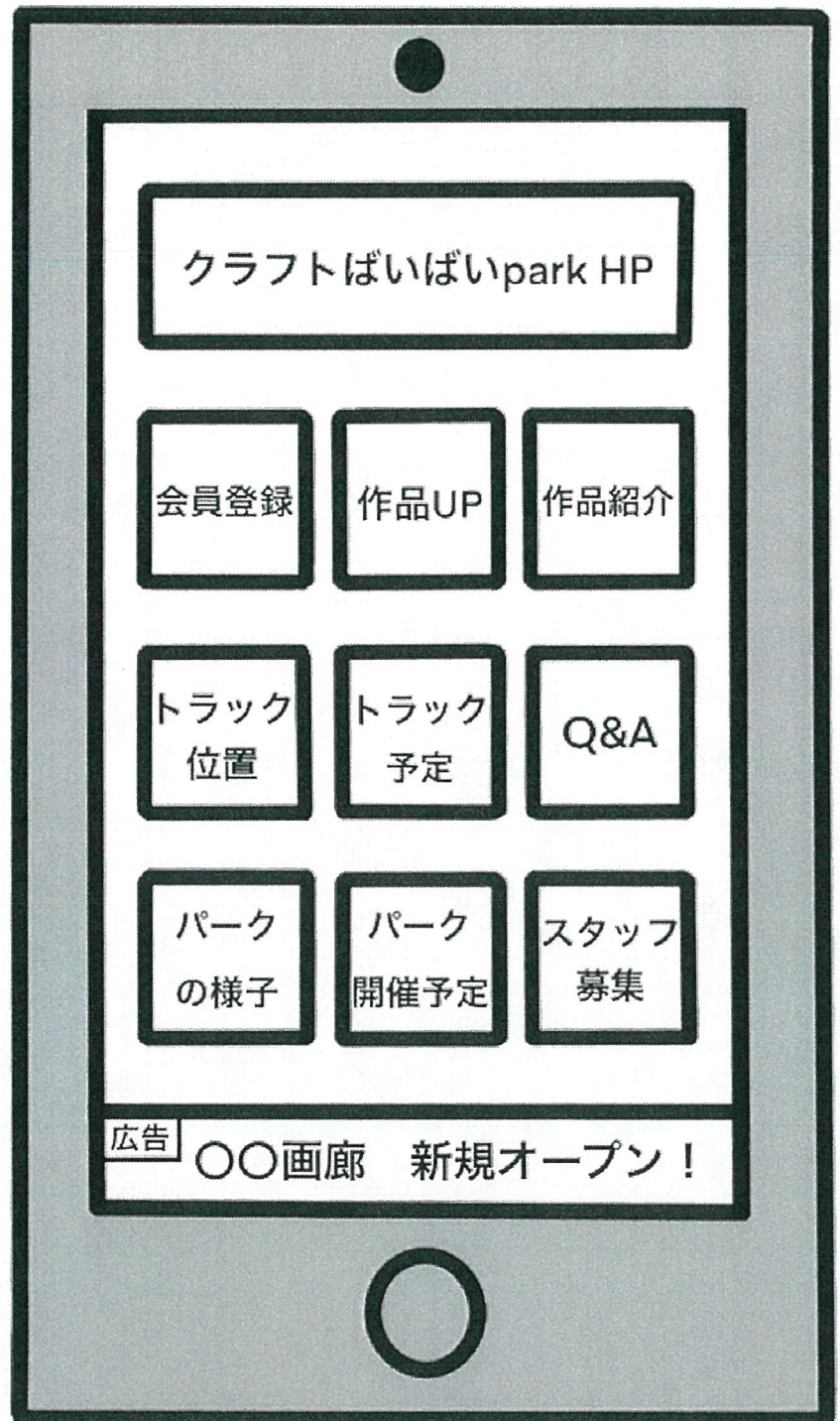
今までの会場の様子を写真付きで見れます。

パーク開催予定

スケジュールが見れます。

スタッフ募集

パーク運営のスタッフや、運転手の求人情報が載っています。



多数使用してくれる作家やヘビーユーザー向けにアプリ展開もします。HPとアプリにはアート関連の広告を掲載します。

内容④ パークについて

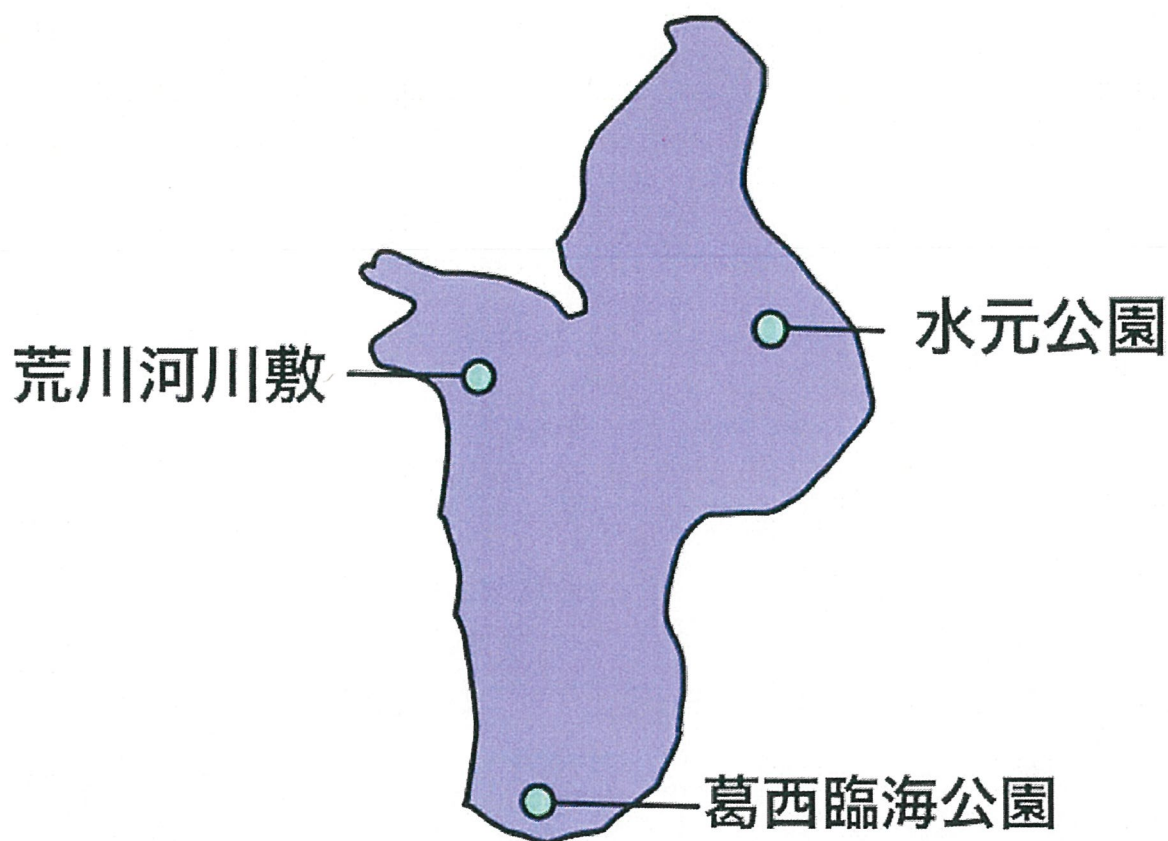
傘型テントを広げることで、作品の日焼け防止やスタッフの熱中症対策の効果が出ます。また、テントと同じ色の作品を一箇所に集めることで、多種にわたる作品を視覚的にまとめることができます。スタッフは1テントに1人おり、ここで購入者と作品の受け渡しも行います。

ポップコーンマシンなど、遊園地にあるものを展示ケースとして応用し、楽しい空間を再現します。



購入者にはレシートと共に、賃貸の家での絵の飾り方や、作品の手入れのコツなどをまとめた紙を渡します。近くの美術展やアート市のチラシなどもパーク内に置きます。代わりに、その美術館やアート市でもクラフトばいばいparkのチラシを置いてもらいます。

ニーズに合わせるとは(江戸川区の例)



水元公園

ドッグランのある公園。犬の人形や犬をモチーフにした絵画を売る。

荒川河川敷

地元に住む年配の方が朝から散歩をしている。陶磁器や日本画などを売る。

葛西臨海公園

都内有数のデートスポット。バーベキューやマリンスポーツが楽しめる。海をモチーフにした作品、ペアアクセサリーなどを売る。

他事業との差別化

画廊 美術館

室外なのでコロナ対策も万全。入場料、入口出口がない。
廉価な作品だけを取り扱う。

従来のアート市

作家は接客などを行わなくて良い。

ハンドメイドマーケットプレイス

発送の手間がない。購入者は実際に作品を目にできる。
作家は購入者とメッセージのやりとりを行わない。

出典

<http://dreamprojects.jp/amusement/2018/07/24/carrier/>

<https://gazoo.com/column/daily/18/08/02/>

<http://meltingpot.tokyo/>

<http://meltingpot.tokyo/%E4%B8%96%E7%95%8C%E3%81%AE%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%83%88%E3%83%9E%E3%83%BC%E3%82%B1%E3%83%83%E3%83%88%E3%81%A8%E6%97%A5%E6%9C%AC/>

<https://bijutsutecho.com/magazine/news/market/23965>

<https://track.seino.co.jp/CallCenterPlusOpen/PickupOpen4SPN.do?>

[_ga=2.46222373.309370504.1633964570-1315969755.1633964570](https://track.seino.co.jp/CallCenterPlusOpen/PickupOpen4SPN.do?_ga=2.46222373.309370504.1633964570-1315969755.1633964570)